

学校だより

# あのみ

令和二年度 九月号  
志布志市立尾野見小学校

## そろえる美しさ

校長 宗岡 克英

一学期が始まり二週間がたちました。開始して早々に台風が二つ接近しました。特に台風十号の影響で七日(月)は休業となりました。八日(火)も学校は終日停電になり、エアコンを利用できないなかで授業を実施しました。また、丸二日間も停電が続き、日常生活に支障が生じた御家庭もあったことと思います。

新しい学期を、新しい気持ちで取り組みたいと思っ矢先のことでしたので、作りかていた生活リズムが崩れそうになつた子どもたちもいるかもしれせん。

スタートダッシュでつまづきかけました。二学期は長いです。まだまだこれからです。全力で二学期を駆け抜けていきたいと思ひます。二十七日(日)には大運動会が予定されています。今年には、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、学校のみの時間を短縮して、午前中の開催となり、出場の種目が少なくなりませんが、子どもたちが全力で取り組み姿を見せることができればと考えています。

早速、九日(水)から全体練習が始まりました。開会式での並び方、体の向き方、礼の仕方、そしてラジオ体操の練習をしました。まだまだ上手にできないところもたくさんありますが、開会式の見どころは

### 【校訓】

明るく・強く正しく・すこやかに

九月の生活目標

・学校生活のリズムを守ろう。

・九月の保健目標  
・安全に気を付けて、元氣よく運動しよう。

### 新学期始まる

は、新型コロナウイルス感染症のため、一学期は、臨時休業があったり、臨時授業があったり、例年とは違う夏休みを迎えました。始業式の朝、たつた一ヶ月の間に、以前よりもぐんと背が伸びて登校してくる子がたくさんいました。そして「おはようございます。」と大きな声で挨拶をしてきました。

「夏休みはどうだった？」「うん。」と聞くと「短かった。」「うん。」と「学習はちゃんとした？」と「うん。」と「頼もしい声も聞かれました。」

始業式では、二年生と五年生の代表が、夏休みを振り返り、新しい二学期に向け抱負を掲げていました。

今年度は、多くの行事が、異なる形で催す機会も多いため、思います。子どもたちが、なにより職員一丸となつてがんばつていきます。



### 「ブラおのみ」

また、保護者や地域の皆様におかれましては、新学期早々台風などの被害もありませんが、尾野見地域全体がより発展していきますよう御協力よろしくお願ひします。

始業式にて、早速校長先生のお話がありました。子どもたちも夏休みの自由研究をしてきました。校長先生も夏休みに自由研究をされていて、スクリーンに投影されたのが、「ブラおのみ」。子どもたちも、先生たちも、始めきよんとしました。話を聞いてみると「ブラタモリ」を真似て「ブラおのみ」と名付け、尾野見地域をブラつとめぐつて石碑を調べてみたということでした。

石原集落の近くに「開宅記念」という石碑を魚拓の近くに写し、尾野な紙を提示されました。



子どもたちの巨大な心算を聞いて、周りをのぞいてみると、みんなの意見が、さつたりと変わりました。慣れた風景に、見慣れた変りも、ない風景に、なるとふと立ち止まると、気がつくお話を、先生のお話